

(1月)

27日 勝田マラソン給水ボランティア

(2月)

- 3日 住吉神社 節分祭
- 6日 日立グループ議員団 会議
- 7日 電機連合 議員団会議
- 8日 東海村新人議員研修
- 12日 臨時議会
- 17日 那珂市議選 遠藤実出陣式
- 18日～20日 日立グループ議員団「政治専科」
- 24日 民主党茨城県連 定期大会
- 27日 町村議会議員自治研究会
- 29日 3月議会 開会

(3月)

- 2日 新・白方小 遺跡発掘調査現地説明会
- 8日 須和間集会所 竣工式
- 11日 東海南中学 卒業式
- 12日 3月議会 一般質問
- 15日 ルネサス労組那珂支部OB会 総会
- 19日 須和間幼稚園 卒園式
- 21日 中丸小学校 卒業式
- 22日 日立労組佐和支部OB会 総会
- 25日 3月議会 閉会

## 編集後記

1月の選挙から、あっという間に2か月が経過しました。毎日が行政の仕組みの勉強と新しい課題との挑戦で右往左往している状況です。早く議員生活のペースを掴み、皆さまのご期待に応えられるよう、精一杯頑張らせて参ります。

また、議員としての活動をスタートするに際し、会派は「平政クラブ」に所属し、併せて「民主党」へ入党することとしました。

今後は、所属会派および政党活動を通じて、皆さまの声を行政へと反映して参ります。

## 勝田マラソン給水ボランティア



原研通り県信前にて、第56回勝田全国マラソン大会の給水ボランティアに参加しました。今年は11,133名ものランナーがゴール目指して力走したそうです。

今回は、10年振りにゼッケンをつけての出場？を予定しています。

## 須和間集会所竣工式

老朽化にともない新たに建替えられた集会所の竣工式に、地元の議員として出席しました。

生まれ変わった集会所が、須和間地区の住民に親しまれる空間となって欲しいものです。



## 日立グループ議員団「政治専科」



日立グループ議員の新人議員を対象に、(財)富士社会教育センターの集中講座が開催されました。

研修には、日立市3名、ひたちなか市3名、尾張旭市1名、東海村1名の計8名の新人議員が参加し、3日間の長期間に渡り、議員としての心構えから議会活動のイロハまで、幅広い知識を習得することが出来ました。

## VOICE



保坂和正さん (豊白在住)

我が家には、五歳になる娘がいます。毎日、保育園で元気いっぱい遊んでいるようですが、親としては、ケガしないことを願っております。

東海村には子供の医療費無料化の制度があり、この4月から、その対象が小学校卒業まで拡大すると聞いております。子育て世代としては、大変喜ばしい施策です。

越智議員には、私たちが安心して育児ができるように、福祉・医療の充実に取り組んで欲しいです。

## 越智たつや後援会

〒317-0073 日立市幸町2-13-6(日立製作所労働組合 日立支部内)  
TEL 0294(22)3004  
FAX 0294(23)2629

# わかば通信



創刊号

H20.4.10 発行

東海村議会議員 **越智たつや** 議会報告

発行人：越智たつや後援会



日頃のご支援に感謝申し上げます。

このたび、「越智たつや」の日常活動を皆さまにお伝えするために、「わかば通信」を発行する運びとなりました。今後は定例議会の終了毎に本紙を発行し、定期的に村政の情報や議会の内容を、皆さまに分かりやすくお伝えしていきます。

また、リレー形式で村民の皆さまからご意見をお寄せ頂く、「VOICE」のコーナーを設けました。皆さまと一緒に創意工夫しながら、親しみのある紙面を創り上げていきたいと考えております。

皆さまのご支援ご協力を宜しく申し上げます。

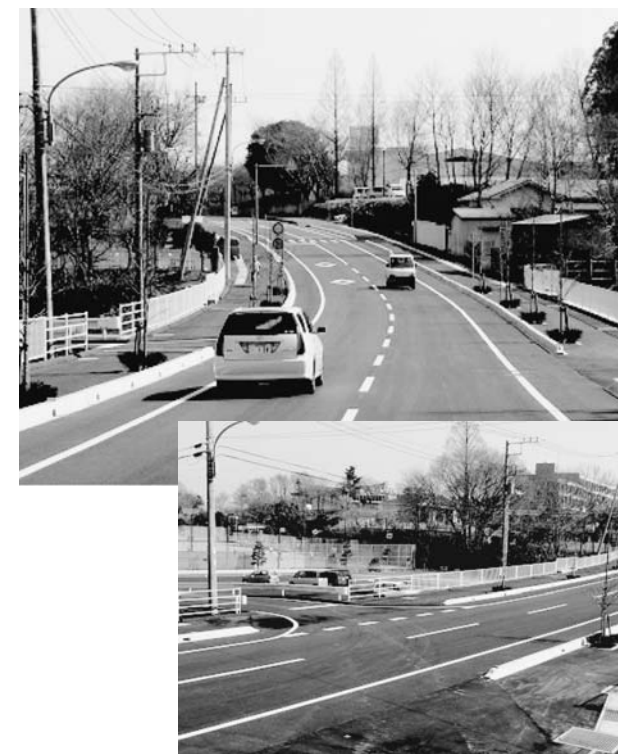
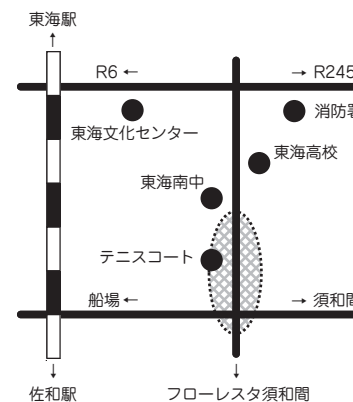
## NEWS

～ 東海村の身近なニュースをお伝えします ～

# 小松原・笠内線が全線開通

以前より、議会でも取り上げられていた東海南中前からフロースタ須和間方面への小松原・笠内線(村道0103号線)の工事が完了し、3月26日(水)から供用開始となりました。

本工事により、通学路の確保やテニスコート入り口への道路の整備、および村道0202号線との交差点に信号機が設置され、周辺地域住民の皆さまにとって、利便性と安全性の向上に大きく寄与するものと期待しています。





平成20年度  
予算案審議

# 一般会計20億円増の大型予算が決定

3月定例議会が、2月29日～3月25日までの会期で開催され、平成20年度予算案など、全46件の議案が全て可決されました。

なかでも、一般会計予算規模は新規事業を含めた20億円増の180億円であり、近年に無い大規模で積極的な予算が編成されました。

## ◆平成20年度予算 総括表 (単位:千円)

会計名	予算額	前年比(%)
一般会計	18,008,000	13.0
国民健康保険事業会計	2,619,850	△0.9
老人保健事業会計	194,876	△90.7
後期高齢者医療会計	251,082	皆増
介護保険事業会計	1,649,581	9.7
介護サービス助定	4,471	0.0
東海駅西土地区画整理事業会計	92,878	△1.2
東海駅東土地区画整理事業会計	109,931	△13.0
東海駅西第二土地区画整理事業会計	271,986	△10.6
東海中央土地区画整理事業会計	803,885	13.7
公共下水道事業会計	1,531,100	△11.8
公園墓地須和間霊園事業会計	—	皆減
小計	7,529,640	△18.8
水道事業会計	1,002,600	△25.2
病院事業会計	1,364,722	△2.2
小計	2,367,322	△13.5
合計	27,904,962	△0.1

## ◆主な新規事業の概要

### 東海駅待合室設置事業

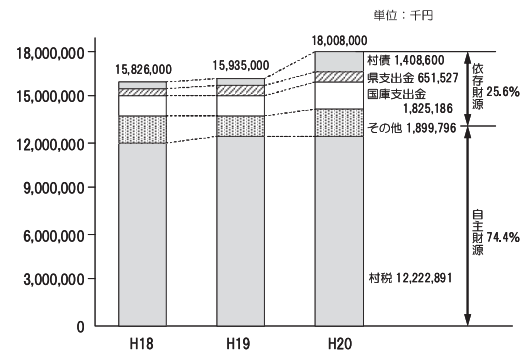
駅の自由通路に待合室を設置し、駅およびステーションギャラリー等の利便性を高めるとともに、大強度加速器の稼動に伴う来村者向けの村主要施設等の案内板を設置する。

### 東海PAスマートIC関連道路事業

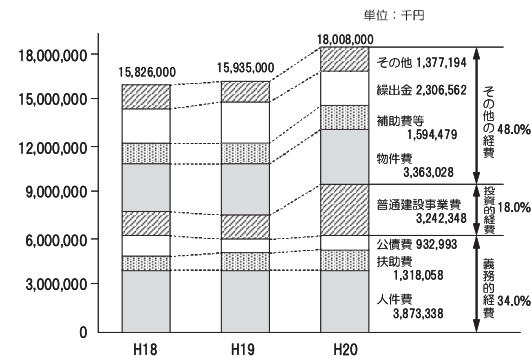
常磐高速自動車道に東海PAから直接乗り入れ可能なスマートIC(ETC専用のIC)を設置し、利便性の向上や災害時の代替機能や緊急輸送支援を実現する。



## ◆一般会計予算 歳入科目別内訳の推移



## ◆一般会計予算 歳出性質別内訳の推移



## ◆主な新規事業の概要

### 農業情報発信館施設建設補助事業

東海村における地産地消の推進、地域農業の発展と活性化を図るため、ひたちなか農業協同組合に対し補助を行い、「農産物直売施設」と「東海村農業支援センター」との複合施設を建設する。

### バイオディーゼル燃料利用推進事業

家庭から出る廃食用油を収集し、それを原料にBDF(バイオディーゼル燃料)を製造する。製造したBDFは、清掃センターや最終処分場のダンプ、および村のワゴン車やトラック等に利用する。

### 母子・父子家庭家賃助成制度事業

児童の健全育成および生活の安定のため、母子・父子家庭の親を対象に家賃の一部(月額7,000円)を助成する。

# 初議会で一般質問に登壇

当選してわずか2か月ですが、皆さまの声を村政へと届ける第一歩として、3月12日(水)一般質問に登壇しました。

持ち時間30分のうち、わずか18分という発言時間に留まりましたが、「住民の皆さまの代表である」ということを、改めて感じさせられました。

以下、質問内容と執行部の答弁の抜粋です。



## 「役場の窓口業務時間の延長について」

H20年1月から通年での時間延長(毎月第1・第3木曜日を午後7時まで)する取り組みが試行的に実施されている。一方で、土日の窓口開設を要望する声もある。

今回実施に踏み切った「通年での第1・第3木曜日の窓口時間延長」という結論に至った経緯は?

窓口サービス向上策については、庁内窓口課を核として、窓口サービス検討小委員会や、上部機関である「行政改革推進協議会」における継続的な議論により、取り纏めたものである。

この中で、土日開庁の実施に関する議論も行われたが、現状でもきめ細かなサービスを提供していることや、本人が役場に来られない場合でも、家族による代理申請や郵便による申請等がある。これらについて、周知・広報していく必要があることや、まずは、窓口業務時間延長の通年実施を行い、利用動向を分析する必要があること等から、土日開庁については、当面実施しないで、費用対効果の面を含め、幅広く検証していくとの結論に達した。

これからも、窓口業務時間延長のPRに努めながら、継続実施するとともに、家族による代理申請や郵便による申請など、本人が役場に来られない場合の申請方法についても、より一層の周知・広報を図りながら、これらの取り組みの実績や住民の皆さまの反応を踏まえながら、あくまでも平日を前程に、よりきめ細かな窓口サービスを実施していきたいと考える。

## 「レジ袋の有料化について」

本村においてレジ袋の有料化の導入に踏み切るのか、また導入するのであれば、時期はいつごろを予定しているのか?

これまで、「マイバッグ推進キャンペーン」をのべ6店舗で実施し、来店者にレジ袋の辞退、あるいはマイバッグの利用を呼びかけてきた。

また、昨年12月に、マイバッグを全戸配布した結果、小売店によると、マイバッグを持参して買い物をする人が目に見えて増えるとともに、レジ袋の辞退率も高くなっていると伺っている。

こうした一連の取り組みを踏まえ、村は地域協議会と連携して、村内の小売店、商工会、住民とレジ袋の有料化に向けた話し合いの場を新年度に設け、有料化に向けた課題の抽出や、店頭での消費者へのヒアリングなどを実施し、ご協力いただける小売店のご理解をいただいて、できるだけ早い時期に有料化に踏み切りたいと考える。

## 「産業廃棄物処理施設について」

現在、訴訟にまで発展している大豊プラントの建設に加え、また新たな民間企業によって、産廃処理施設が建設される動きがあると伺っている。

行政として、積極的に、かつ早急に、先手先手の施策を、今こそ打つべきであると考えている。

村としても、これらの施設の参入には大変危機感を持っている。設置を阻止する手立てとして、他の自治体の取り組みを調査しているが、例えば①水資源の確保の観点から「水道水保護条例」を制定する。②「紛争予防条例」等を制定し申請手続きを煩雑にすることで規制を試みる。③地権者の合意が条件であるが立地制限等を設ける。などが見られる状況である。

また、村が取り組んでいる環境都市宣言等で、「東海村は産廃処理施設を設置させない」という、強いメッセージを内外に強く周知させることも、効果があると考えている。

議員の提案する立地協定の締結等も含め、今後とも全庁的な視点で、調査検討して参りたいと考える。